

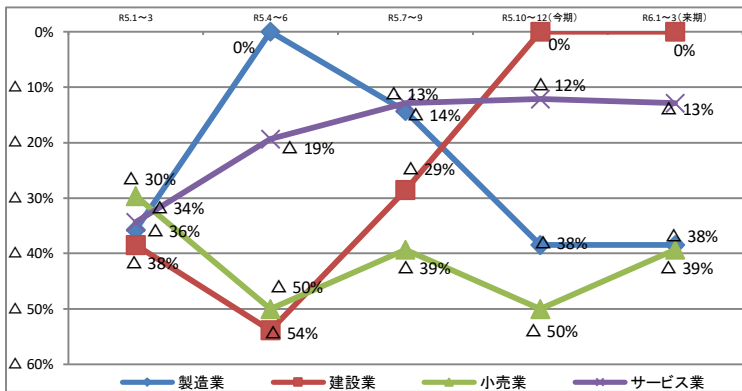
産業別業況判断DIでは建設業と他業種で明暗が分かれる結果に。

山口商工会議所では、管内中小企業98社を対象に景況調査を実施し、このほど令和5年10月～令和5年12月期実績と令和6年1～3月期見通しについての調査結果（回答数89社、回答率90.8%）をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期の▲25%から▲27%とマイナス幅がわずかに増加した。業種別みると、建設業を除く3業種は、マイナスで推移しているが、中でも製造業は▲14%から▲38%と大幅に低下しており、2期連続低下傾向と苦しい状況が続いている。建設業は2期連続で改善、このまま改善傾向が続くのか注目していく。新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の18%、来期設備投資を実施予定の企業は11%であった。前年同期と同じ結果となった。経営上の問題点については、大きな変化は見られず、引き続き需要の確保やニーズへの対応等が課題となっている。

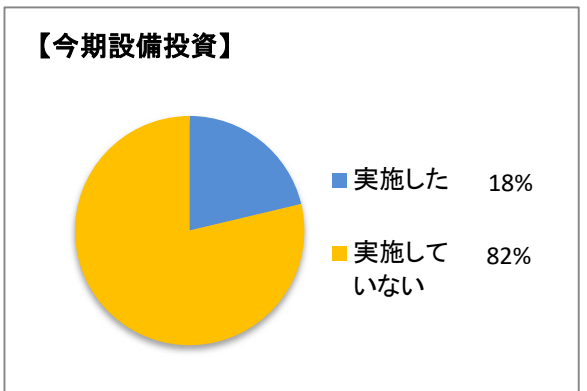
◆業況DI値（今期の状況）

	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△ 27%	→	△ 15%	→	△ 23%	→	74%	→	△ 30%	→	△ 9%	→
製造業	△ 38%	→	△ 14%	→	△ 29%	→	86%	→	△ 43%	→	△ 17%	→
建設業	0%	→	0%	→	8%	→	58%	→	△ 17%	→	△ 33%	→
小売業	△ 50%	→	△ 43%	→	△ 39%	→	86%	→	△ 43%	→	4%	→
サービス業	△ 12%	→	6%	→	△ 17%	→	61%	→	△ 16%	→	△ 6%	→

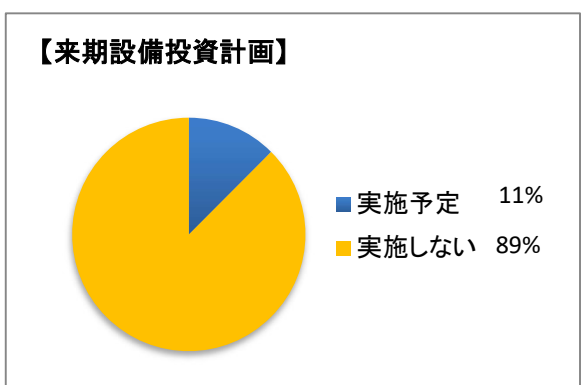
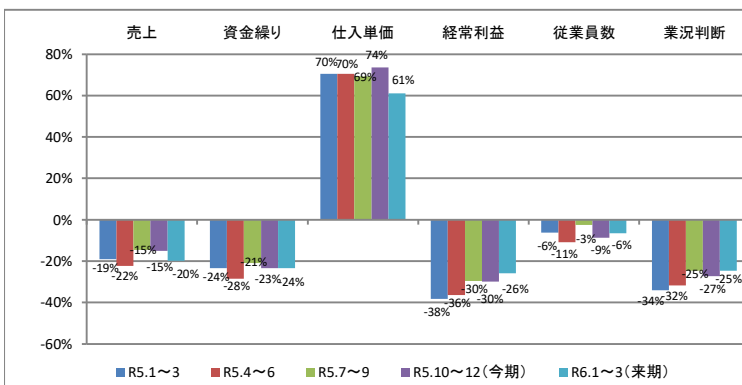
◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）



◆新規設備投資（今期実施・来期計画）



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	原材料価格の上昇 28.1%	従業員の確保難 17.6%	仕入単価の上昇 19.1%	材料等仕入単価の上昇 16.9%
2位	需要の停滞 21.9%	官公需要の停滞 17.6%	需要の停滞 17.6%	人件費以外の経費の増加 15.7%
3位	人件費の増加 12.5%	材料価格の上昇 14.7%	消費者ニーズの変化への対応 13.2%	利用者ニーズの変化への対応 14.6%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。